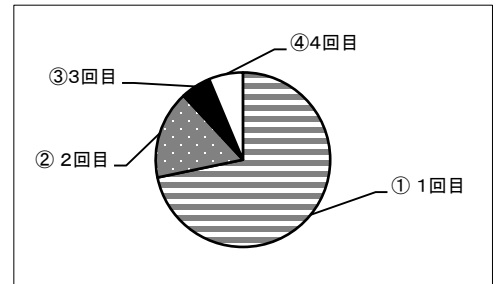


SPODフォーラム2012事前アンケート集計結果

アンケート回答者数：428名（webでの受講申込時に実施）

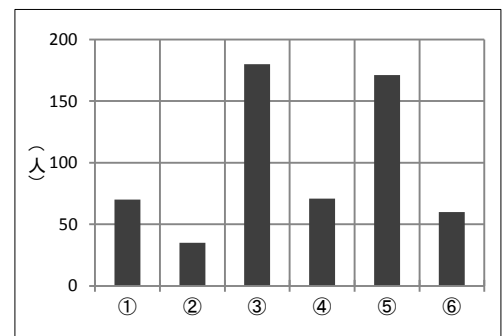
1. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	307	71.7%
② 2回目	70	16.4%
③ 3回目	24	5.6%
④ 4回目	27	6.3%
計	428	100.0%



2. SPODフォーラムをどこで知りましたか？（複数選択可）

	度数	割合
① SPODホームページ	70	16.4%
② SPODメールマガジン	35	8.2%
③ SPODフォーラムチラシ	180	42.1%
④ SPOD研修プログラムガイド201	71	16.6%
⑤ SPOD関係者からの案内	171	40.0%
⑥ その他	60	14.0%
アンケート回答者数	428	

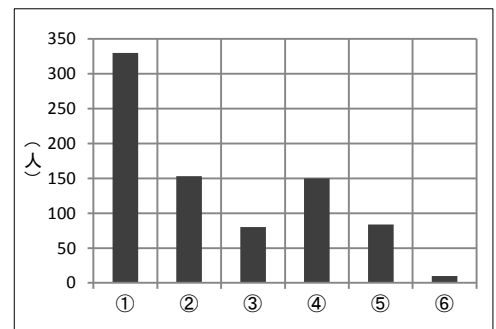


その他の記述内容

- ・ 学内（職場）からの案内（28）
- ・ 上司からの案内（5）
- ・ asagao-ML（5）
- ・ 同僚からの紹介（3）
- ・ 自身がSPOD関係者である（2）
- ・ 参加経験者からの紹介（1）
- ・ Q-Links（1）
- ・ 大学教育教育学会での事例紹介（1）
- ・ 土持法一先生からご案内を受けました。（1）
- ・ 法人の職員研修担当者（1）
- ・ 公立大学協会の知り合いから（1）
- ・ 学内教員（1）

3. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可）

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	330	77.1%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	153	35.7%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	80	18.7%
④ FDやSDに関する情報収集のため	150	35.0%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	84	19.6%
⑥ その他	10	2.3%
アンケート回答者数	428	



その他の記述内容

- ・ 学内委員（関係係）による参加要請（4）
- ・ 自分が解決したいテーマがあったから（1）
- ・ 橋本メソッドに興味があるため（1）
- ・ 講習を通して新たなものの見方が学べると思ったから。（1）

SPODフォーラム2012全体アンケート集計結果

当日参加者数

SPOD加盟校から：373名

SPOD加盟校以外から：123名

合計：496名

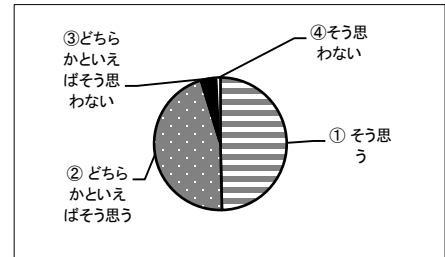
アンケート回答者数：274名（フォーラム終了後、web入力にて実施）

回答率：55.2%

1. SPODフォーラムでの研修成果について

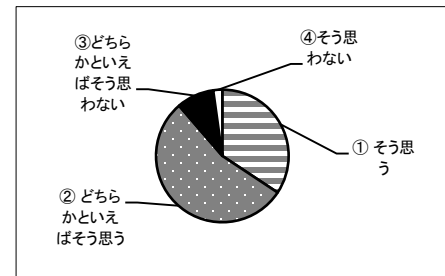
自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	度数	割合
① そう思う	136	49.6%
② どちらかといえばそう思う	125	45.6%
③ どちらかといえばそう思わない	11	4.0%
④ そう思わない	2	0.7%
計	274	100.0%



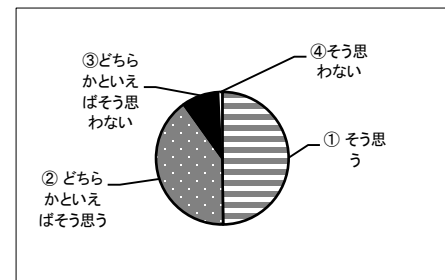
所属組織の問題解決に役立つ情報を入手することができた

	度数	割合
① そう思う	94	34.3%
② どちらかといえばそう思う	149	54.4%
③ どちらかといえばそう思わない	25	9.1%
④ そう思わない	6	2.2%
計	274	100.0%



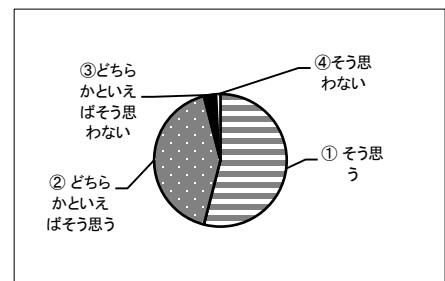
組織を超えた交流を持つことができた

	度数	割合
① そう思う	136	49.8%
② どちらかといえばそう思う	110	40.3%
③ どちらかといえばそう思わない	25	9.2%
④ そう思わない	2	0.7%
計	273	100.0%



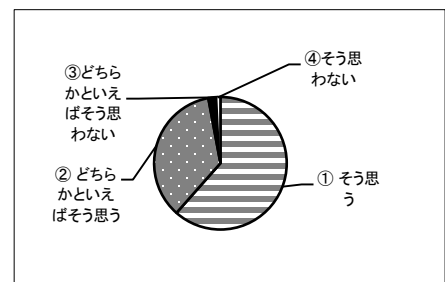
フォーラムで学んだことをすぐに職場で実践したい

	度数	割合
① そう思う	148	54.0%
② どちらかといえばそう思う	115	42.0%
③ どちらかといえばそう思わない	9	3.3%
④ そう思わない	2	0.7%
計	274	100.0%



SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

	度数	割合
① そう思う	168	61.5%
② どちらかといえばそう思う	97	35.5%
③ どちらかといえばそう思わない	6	2.2%
④ そう思わない	2	0.7%
計	273	100.0%

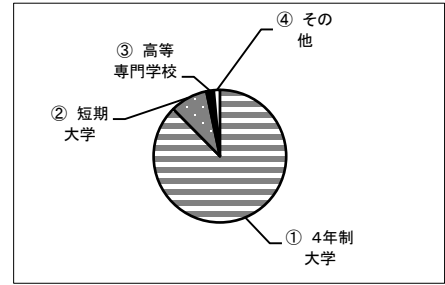


2. 感想、ご意見、ご要望等 (別紙参照)

3. 参加者ご自身について

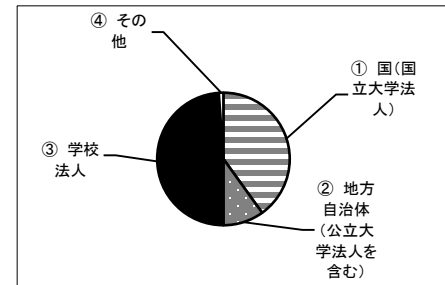
所属先

	度数	割合
① 4年制大学	240	87.6%
② 短期大学	25	9.1%
③ 高等専門学校	5	1.8%
④ その他(法人本部(1))	4	1.5%
計	274	100.0%



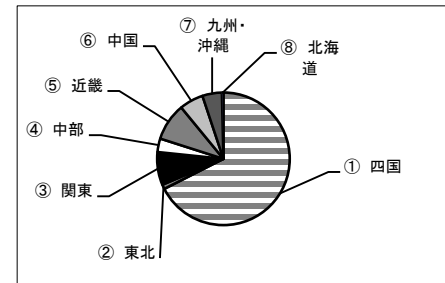
所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	109	40.1%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	27	9.9%
③ 学校法人	133	48.9%
④ その他(独立行政法人(1))	3	1.1%
計	272	100.0%



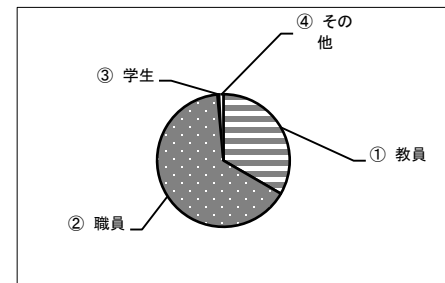
所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	185	67.5%
② 東北	3	1.1%
③ 関東	22	8.0%
④ 中部	9	3.3%
⑤ 近畿	25	9.1%
⑥ 中国	16	5.8%
⑦ 九州・沖縄	13	4.7%
⑧ 北海道	1	0.4%
計	274	100.0%



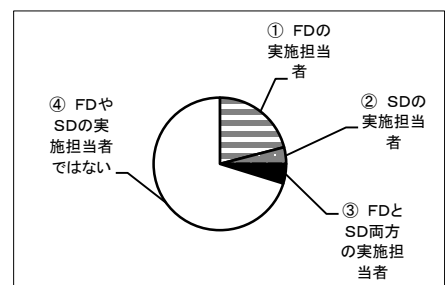
職種

	度数	割合
① 教員	91	33.3%
② 職員	178	65.2%
③ 学生	2	0.7%
④ その他()	2	0.7%
計	273	100.0%



あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	57	21.0%
② SDの実施担当者	11	4.0%
③ FDとSD両方の実施担当者	13	4.8%
④ FDやSDの実施担当者ではない	191	70.2%
計	272	100.0%



SPODフォーラム自由記述欄 良かった点とりまとめ

【内容について】

- グラフィックシラバスはすぐにでも取り入れることができるスキルです。他の教員にも勧めようと思っています。
- 教育の具体的な方法論を改めてお聞かせいただき、自分の現在の教育方法を振り返るきっかけになりました。
- 中村文子先生のワークショップだけの1日参加でしたが、即実践に役立つ内容で、すでに2学期の講義内容で実践に活かすよう改善しました。
- 昨年要望として出した、学習理論に関するプログラムや、理系基礎教育に関するプログラムがあった事
- 小林直人教授の話は非常に具体的で、実際に授業で使える内容であり、参考になった。
- これまで普段は、学生によりよい教育を求めて、一人で考えてはいたものの、効率が上がらなかった。今回参加させていただいて、各講師のファシリテートの下、他大学他学部多業種の方々と、グループワークを行うことで、学生が必要とすること、自分のやるべき事の方向性が見えてきました。
- 教育に関わる基本的な知識を整理することができたし、新しい方法へのヒントを得ることができた。例えば、学生が主体的に学習できるように、どのような働きかけが効果的かなど。
- アクティブ・ラーニングがテーマに設定されていて、わかりやすかった。(2)
- 大人数講義の方法に関する二つの分科会に出席して、具体的な示唆を得たこと。
- 基本点の再確認ができたこと。
- アクティブ・ラーニングを体験できた。グループワークなどで、理系教員と一緒になったとき、アクティブ・ラーニングを理系の専門課程でする場合の難しさ(課題)が共有できた。
- 理解と記憶という内容でそれぞれのメカニズムを学び、これからの授業の仕方を改善するのに参考になりました。(2)
- 授業コンサルテーションやグラフィック・シラバスなど新しい知識を得ることができた。
- 具体的な授業手法や工夫を教えて頂いたこと。すぐに実践できそうなエッセンスが盛り込まれていることは、とてもありがたいです。
- FD/SDに特化した内容のプログラムの提供があること。
- FDに関わる概念や技法を体系的に教えていただいた点
- 勤務場所を離れ環境も違うところで、普段の自分を見つめ直し振り返る機会となる。何より毎年大人気の中村文子先生の研修を受講できたことが良かった。
- 「グラフィック・シラバス」についてのセッションに参加しました。普段とりたてて意識することのない講義の構造について自覚・整理することが出来て大変有意義でした。ありがとうございました。
- FDに役立つ情報を入手することができた。(5)
- 業務運営に必要とされる実践的な知識、ノウハウを身につけることができました。
- 秦先生のお話を直接聞くことができたこと、またDVD「大学職員力」という学内に広くSPODで学んだことを周知するツールが入手できたことです。
- 科研費応募を考えており、先人の考え・取り組みを聴くことができ、大いに参考になった。

- コーチングについて学ぶことができた。
- 学生の興味・関心を引き付ける授業ってなんだろうと、日々、手さぐりで実践してきました。SPODフォーラムに参加して、理論と実践の両面においてヒントを得ました。また、参加した全ての講義において、有益な資料を頂けたので、今後活かすことができそうです。特に「ワールド・カフェ」、「小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン」のプログラムに参加した際に頂いた資料は、質量共に充実していました。
- 議論の技法等、普段軽視しがちな技術論の部分について学習できたので、実務に生かしていくことができるかと思う。
- 業務上での自分の問題点や改善したい点について学習できる講座を中心に受講して解決の糸口が見つかったと感じた点（2）
- 受講した講義内容が、本当に自分に必要な内容だったので、職場に帰ってすぐに実践することができた。リーダーシップをとるために必要な観察力・洞察力を高めるための講義を受講したが、講師の方の進め方もよかったし、グループワークも適度な人数でやりやすかった。
- ワールド・カフェに関するプログラムは、学内外で対話を行う際に取り入れやすい手法であり、学内でFD関連の意見交換を実施するにあたっては是非とも参考にしたいと思いました。
- 講師の一方的な知識の伝授でなく、同じ境遇の人達と情報共有した中でのワークであり参考になる点が多く実践に取り込むイメージが膨らみました。（3）
- どのプログラムもインプットだけでなく、アウトプットを行う機会があり、大変有意義でした。
- グループワークやディスカッション形式はとてもいい刺激になった。人数構成もちょうどよく席替えも頻繁に行っていただけのため、その都度適度な緊張感で新鮮な気持で臨めたので、とてもよい環境だったと思います。講義内容も日々の業務で想定できる場面でありながら、新しい発見につながるものが多く大変有意義でした。（5）
- SD研修の設計について習得できた。
- 今日的高等教育が直面する課題について、いくつかの切り口を集中的に学ぶことができた。さまざまな地域・規模の他大学等の教職員と交流をもつことができ、視野が広がった。
- 希望して受講した講座内容が、それぞれ期待に違わないもので、取り上げられた課題について自分なりに理解を深めたり、今後の業務に活かせる考え方や技術を身につけることができたと思います。
- 現在の業務の問題解決に役立つ講座が受講できたこと。（2）
- 「部下を生かすためのコーチング講座」に参加して、メンタリングの特性中、＜メンターはメンティーの人生を把握し、受け止める度量が必要＞とか、助言・指導・評価をブレずに行うための方策中の＜組織で最も大切なものは理念である＞、＜ポートフォリオの活用＞は大変参考になった。
- さまざまな内容の講座があり、興味を持てる内容が多くあった点。（9）
- 自分自身の研究において必要としていた知識や情報を十分に得ることができた。
- 「職場内における人材育成の仕方」のなかで、人材育成を推進するにあたり、重要なことは組織としてのビジョンが明確であること、それを構成員が理解し、共有することであるということのを再認識できたことが自分にとっては大変有意義でした。
- 学生の支援について、現状に即した対応を知ることができ、自信を持つことができました。もちろん課題は山積していますが、取り組む意欲が湧きました。特に建学理念を核としたブレのない対応を教えていただいたことは、不安の払拭と同時に大きな勇気を持つことができました。

- ワールド・カフェなど経験したことのない手法を学べたこと。（3）
- 自身の卒業大学は、教育学部教育学科でしたが、時代とともに教育技法・方法論も変遷していきま
す。そこで講師である先生方から、教育に関する最先端の内容である研修を受けることが出来て
大変よかったです。

【その他】

- 各講義の中で、受講生間の交流ができるように配慮されていた点は良いと思います。
- 他大学の教職員と知り合いになれたし、いろいろな意見をきくことができた。（79）
- 徳島大学の職員の方々のマネジメントの優秀さを実感できたこと！
- 実践的ですぐに役立つ内容を実習形式で実際に体験できるどころ（9）
- FD/SD について知識としての一般論ではなく、グループワークなどを取り入れた具体的な質を高
める手法を学べたことがとても良かったです。
- 自分自身のコミュニケーションの特性を知り、自身の授業の振り返りを行うことができました。
また、グループワークでは参加された方々の意見を聞くことで幅広い視点で一つのテーマについ
て考えられたり、他分野の職種の方が親身になってアドバイスをしてくださることで、知識だけ
でなく物の考え方や捉え方を学ぶことができました。
- 初めての参加で SPOD の意義が少し理解できた。
- 他大学での取り組みや問題点を知ることができ、自分の大学と同じような悩みや対策を練ってい
ることなどを具体的に話し合えて良かった。（5）
- 大学教員以外の講師の話がためになった。
- 四国の大学教職員の方々のレベルの高さを認識し、自らのレベルアップの必要性を再認識できた。
- 日頃の業務と一歩離れた場所で、自分のスキルや目的、考え方などを見直す良い機会となりまし
た。また全国の大学職員と交流することができ、様々なお話を聞くことができました。（2）
- 教員だけではなく大学職員が講師を務められている講座もあり、講師ご自身（事務職員）の経験
を踏まえてのお話しがされており、自分自身の経験をイメージしながら講義を受けることが大変
良かった。
- 日常業務から離れて色々な事を考える時間を持つことができました。（4）
- 以前から本などで知っていた先生と直接お話を聞くことができた。
- このように継続的かつ組織的に大学職員の人材養成が実施されている現場を感じることができ、
自エリア、自組織を対照して見ることができ、課題を明確化することができた。
- 自己啓発になった。（4）
- 四国での大学間の交流が盛んなことを知れて良かったです
- 参加者には、若手のやる気のある事務職員が多く、前向きな話を聞くことができた。
- 三日間みっちり学べたこと。
- 昨年よりもグループワークが多かった点
- プログラムの内容もさることながら、その運営手法も非常に参考になりました。
- 今、自分に必要だと思う講義が開講されていたので、タイムリーに勉強することができました。
（2）
- 講師の先生の言葉で、納得できるものが多く、とても参考になった。

【感想】

- 雰囲気がいいですね。
- まず教授法などの技術的なことよりも、授業を改善しようという気になった。
- 緩やかなグループワークであったので、受講者が発言を強要されることがなく、自由な雰囲気の中で受講することができた点が良かった。講師と受講者との間、また、受講者と受講者の間にも適度の距離があり、落ち着いて受講することができた。参加者間の距離を狭めようとして、無理なパフォーマンスを強いる講習が少なくない中で、本講習は絶妙の距離を保っていた。そのため、窮屈な思いをすることがなかった。
- 自分の授業が客観的に見え、改善すべき点の多いことが分かり、今後に生かしていきたい。全国から参加している先生が多いことに驚きフォーラムの質の高さを知った。
- 充実した研修を無理なく受けることができ、とても良かったと思います。これが、四国外での研修となると負担感が重くなってくると思います。
- フォーラム（研修プログラム）に参加することで、いつも自分が授業で行っている方法を学生の身になって受講するなど、授業のスキルを実際に体験することができた。
- 日頃は学長や理事・副学長、学部長、部長クラスと話すことがほとんどなので、係長や主任クラスの職員や長の付かない先生方と話が出来て良かった。また、公立大や私立大の人と話す機会はあまりないので新鮮だった。
- 実践を交えての発表だったので、参考にしようと思った。
- 他大学の職員（特に私立大学の方）の大学職員としてのモチベーションの高さに感心してしまいました。この SPOD フォーラムは他の地域では中々実施されていない研修なので、来年の引き続き参加したいと感じました。
- 本学では F D 研修が先行しており、S D 研修はなかなか受講できる体制が整っておらず、今回のフォーラムに参加させていただき大変勉強になりました。普段は当たり前の状態に対応している業務にも、今回は「気づき」があり今後の業務に生かしていけるかと思います。
- いろいろな大学の方々とお会いする機会があり、とても刺激になりました。迷っていたこと、疑問に思っていたこと、新しい発見など仕事上だけでなく、いろいろな面で使えることを学ぶことができたフォーラムだったと思います。また、ぜひとも機会があれば次回も参加したいです。スタッフの方々も講師、受講者以上に真剣に取り組んでいたのも、そのひたむきな姿勢は見ているだけで勉強になりました。
- 若い学生さんと話す機会があり、さまざまな分野に取り組みされている様子に感心した。
- 活発な活動を目の当たりにでき、刺激になりました。学んだことを実践する機会を設けたいと意欲がわきました。
- これから自分が大学職員としてどうあるべきか、どのように考え、行動するべきか方向性が見えてきた。今回勉強したことをできるだけ仕事に活かせるように努力したい。

SPODフォーラム自由記述欄 改善点とりまとめ

【開催時期について】

- 開催日程は8月でなく9月上旬がありがたいです。
- 初日を午後からにしていただけると、1泊減って参加しやすいかと思います。
- 日程的にも夏季休暇期間なので、比較的参加しやすいと思います。（13）
- スケジュールが空いていないと残念ながら参加できないため、なるべく早く日程等公表してもらえると有難い
- 金曜日に終了するようにしていただけると、研修で学ぶだけではなく四国ならではの歴史や風俗に触れる機会を得られると考えますのでご考慮いただければと思います。
- 日程について、土・日を含んでいただけると助かります。（2）
- 1度に3日間全ての研修を受講する事は困難なので、年に2回実施するなどあれば、各大学でも多くの受講者が参加できるのではないのでしょうか（夏1回、秋1回など）（2）
- 開催日程は7月ぐらいがよかったと思うが、8月にするなら、この時期しかなかっただろうと思います。11月下旬でもいいかもしれません。
- 3日間の参加は業務の兼ね合いもありなかなか厳しい状況にある。
- もう少し、涼しい時期が良いです。（2）

【会場について】

- 徳島大学はアクセスがよくて便利でとてもよかったです。（6）
- 会場の規模は、人数にほどよく合致していました。
- 会場が、ホテルなどの会議場ではなく、大学であったことがよかったですと思います。
- 全体的に会場が暑すぎた（節電は理解できるが、体がついていかない／片頭痛持ちにはつらい）。
- 可能であれば、四国4県で持ち回りで実施してほしい。（5）
- 夏季休業中ではあるが、多くの仕事があるため、今回のように近県で実施されるのは本当にありがたいです。
- 会場は、四国外からの参加者を考慮し、比較的アクセスがよい場所がいいと思う。（3）
- 四国以外の場所でも開催してほしいと思いました。（2）
- 朝早くから丁寧に案内していただきました。また会場全体も学内でコンパクトにまとめられていてスムーズに移動ができました。（3）
- 今回は身近な大学での開催だったので研修に参加しやすくよかった。
- 関西圏から参加させていただいた為、徳島までの距離が長く移動が大変であった。
- 駐車場がある会場がいいです。（2）

【シンポジウムについて】

- シンポジウムが、何を意図しているのかわかり難いものでした。誰にどういう影響を与えてどうさせたいのか。意識改革を目的とする集まりだと思いますので、その辺りの筋が明確な方が良かったのではないのでしょうか。
- 2日目のシンポジウムはあまり参考にはならなかった。
- シンポジウムは、登壇者一人ひとりの時間が短く、全体的に急ぎ足の雰囲気であった。

- 2日目のシンポジウムでは、参加者全体の傾向などから判断して、質疑応答に一定の枠組を予め設けておくなど、有意義な討論・議論となるように周到に準備すべきではないか。当日の質問者3人のいずれの質問も、授業向上のための知見を深めたいと思って参加している多数の参加者の認識とはずれていたように思う。短い討論時間を有意義な議論に使えるように、司会者は準備し、コントロールしてほしい。(2)
- シンポジウムですが、もう少し質疑応答に時間があつたほうがよかつた気がします。(2)
- シンポジウムが残念な内容でした。アクティブ・ラーニングについて、教員・職員が共に考える場であつたと思いますが、パネリストの教員からの発言は職員に向けての視座が欠けていました。教室の中で完結する授業手法の1つであるだけならば、共に考える必要はないと思います。また、質問者の教員も主義主張に終始しており、他のプログラムがあるようだったら、シンポジウムよりそちらに参加したかつたです。
- シンポジウムは興味深くホットなテーマであつたが、内容的に難しい・取っつきにくいと感じた教職員がいたように思えた。

【プログラムの内容について】

- 新任教員対象ならば、プログラムの内容の定番化を進めることがよいと思うが、常連が多くなると、プログラムの多様化が必要になってくる。定番と多様化の両立が求められると思いますが、どうやってやるのでしょうか。ということを考えながら参加しました。
- これまで複数回受けた印象でしかないが、講義によって、役に立つものとそうでないものとの差が明確にあるような気がする。研修のための研修になっているものや現場の課題から離れているものもあるのではないか。〇〇講師のように、実際にご自分が工夫され上手くいっている方の話が、説得力があり、有効であるように感じる。
- マニュアル講義ではなく、即実践のため、より具体的事例を含んだ講義内容があれば嬉しいです。
- 理系専門課程用のプログラムの充実。共通教育、文系と、理系専門課程は、専門職で活躍できる人材を育てるという違った面があります。理系の場合、アクティブ・ラーニングをするために、内容を削るという事を躊躇します。そういう、具体的な問題点に対応できるプログラムを用意していただきたいです。
- 学生の想いを聞き出す等のセッションでは、事例研究としては大変に参考となつたが、そこから理論的・体系的な説明、特に一般的な授業にも適応できるような理論が聞きたかつた。(2)
- 参加したワークショップでは、講師の先生方の具体事例を多く出して頂き、即実践できるといつたことに感謝です。このように、やはり、具体事例をたくさん示していただくと、今後の参考になることも多くあると考えます。
- プログラムの内容が重なっているので、整理していただきたい。入門編と発展編などに分けるのもよいと思う。
- 「大学職員のための企画力養成講座」の職場環境・業務改善完結シート中の課題は、具体的な対応策が検討、企画できる事項に工夫していただければと思つた。
- 研修プログラムによっては、講義のみで他大学で同じ業務を担当している人と同じテーマで協議する時間の設定がない場合があつた。(2)
- なぜなぜシートですが、話題の展開や扱いが少し難しかつたです。研修の時間が決まっているのなら、もう少し方向性を整理したシートでもいいのかもしいないと思つた。

- 1 コマのみの受講だった。当該コマは講義形式だったが、情報内容が他の説明会で得られる内容であったため、満足度は低くなった。担当講師の考えや、参加者の考えを共有できる内容であれば満足度は高かったと思われる。
- 部下を活かすためのコーチング講座に参加させて戴きました。講師の秦先生がお話されたように一度の研修で身につくものではなく、継続的なものを期待します。

【プログラムの進め方について】

- 次々と授業が展開となるので、討論する時間が短いように思った。
- 2時間の講座で、30分延長したのがありました。時間内に収めて頂きたいです。スライドの資料について、すべて印刷する必要はないと思いますが、資料のない部分の説明が長い場合は、その部分も印刷して頂けると助かります。(2)
- 1コマの授業だと、考える時間より聞く時間が多くなり、物足りない感じがしました。
- スクリーンが見づらい席が比較的たくさんあったのは少々残念でした。また、偶然私が参加したセッションは、机がグループの配置になっているのにディスカッションの機会が少ない講義形式だったことも残念でした。静かに聴講しながらアクティブ・ラーニングを行うことが誰にとっても難しいことはよくわかっているので、全てのセッションで本格的なアクティブ・ラーニングを体験でき、その良さを持ち帰ることができるような工夫があると非常に良いと思いました。
- グループワーク形式のプログラムが多かったが、講義形式のものもゆっくり聞いてみたかった。
- 私は4講座受講したが、一方的に話を聴く形式のものがなく、参加型の講座ばかりで、十分取り組めた。ただ、講師の説明については、上手い下手があり、講師にも訓練が必要だなと思った。
- グループワーク主体のプログラムが多く内容が濃い一方、時間が足りないことが多かったです。テーマを絞って一つの内容をじっくり扱うプログラムがあってもよいかと思いました。(3)
- 些細なことですが、終了時間が予定より相当遅れた講座がありました。時間通りに進行していただくとうれしかったと思います。(2)

【プログラム個々の運営について】

- 昨年度はテーブルが指定されていました。不都合がなければ復活したらいいと思います。
- 会場によっては、自由に着席したところ、職員の方ばかりで、教育上の問題が話せなかったりしたので、グルーピングの仕方に工夫が必要だと思った。
- 講師により研修内容の成果に差が出てしまうのはやむを得ないとは思いますが、この講座、と思って選んだ研修が予想していたのと違う内容であることが時々あります。どのような内容になるのか、どのような手法で行われるのかがある程度わかるとありがたいと思います(大変ですが)。

【プログラム全体の運営について】

- 多くの講座が開講され、魅力的なものも多く、受講したい講座がかぶってしまった(2)
- セッション毎のインターバルをもう少し短く設定し、その分、朝一番のセッションの開始時刻を少し遅らせるのが良いと思います。
- セミナー時間についてですが、一時間半では短いように感じました。2時間あればより深まると思います。(5)

- 時間通り終了しない、時間が不足して内容をはしょったプログラムや、昼食を取るのに慌ただしかったなど、全体的にいっぱいいな印象を受けました。もう少しゆとりを持って構成できないでしょうか。
- 事前に受講者にスライド資料や参考資料を提示するなどして(参加登録時に ID・PW を配付して web 配信), 時間外学習”をしておいてもらい当日は説明・解説は要点だけに絞ってグループワークの時間を確保するようにはいかがでしょうか。”

【フォーラムの運営について】

- ビラが重複して送付されたので、これをなくすことで送料を削減できるかと思います。
- 一つの内容について、じっくりグループワークができるのは確かに有意義だと思うのですが、せっかく多様な方がいらっしゃっているので、皆様の取り組みをできるだけたくさん伺いできればと欲張ったことも考えてしまいます。ですので、参加者の皆様の様々な取り組みが一同に確認でき、気軽に意見交換ができるようなポスター発表のような時間があっても、有意義ではないかと思います。
- プログラム参加者の交流の場を昼食時などにできないか？
- 直前で受講キャンセル等が発生する可能性がありますから、Web 上で受講可能数がリアルタイムで更新されるような申し込みシステムを使うことができれば良いと思います。
- 初日に配られたプログラムを事前に送付いただきたかったこと (2)
- 研修の具体的内容をもう少しわかりやすく記載していただきたい
- 講座の対象者を今以上に明確に設定すること。
- 初日の最初に全員が一堂に会するプログラムを開催し、共通の話題を提供し参加者が知り合いになる機会を設けてみてはいかがでしょうか？
- 所々にティータイム交流会を設けてほしい
- 夏場なので会場の休憩場所は飲食の場所など（今回はお茶などあったそうですが、場所が良く分かりませんでした。

【その他】

- このアンケートメールに、参加者の「アクションプラン」を書いてもらい、それをご本人にだけ 1 ヶ月後や半年後に自動送付することができれば、フォーラム参加の影響を少しでも長く感じてもらえると思います。
- 初参加であり、滞在も短かったので、特に要望はありません。
- 今後もテーマ設定をすると良いと思います。
- 個人情報を載せておられましたが、アレは意図があるのでしょうか？
- 非常によかったです。
- 四国内及び SPOD 加盟校であっても、SPOD を知らない教職員がいると思われます。（私もそうでした）教職員に周知の研修であることを知らしめることができれば、もっと積極的に皆が参加されると思います。
- FD, SD に区切らせていない内容であったため、教職員ともに受講したい内容のプログラムが多かったと思います。
- テーマ別ランチセミナーはよかったですと思います。

- すべてのコマを埋めてしまったことで、体力的に余裕がなかった
- 中身によっては、全く同じような内容に集結していくため、講義間の連携を重視していくとよりよいものになっていくと思います。
- 3日間の参加ができず、参加したいプログラムも多くあったのですが、交通の便が少なくかなわず、残念でした。
- SPOD には毎年参加している。
- 食堂が混んでいたのも、食券をあらかじめ発注していたら良かったように思います。
- 各分野に係る継続的な講師養成
- 満足感こそあれ、改善点や要望はありません。中国地区からイレギュラーな参加をさせていただきましたが、機会があるごとに職員を参加させたいと思います。
- グループワークを主体とした講義で、2人だけでグループを作るケースが何回かありましたが、グループを組む相手が非常に消極的（例えば、職務命令でしようがなく来ました。とか言っている人がいました。）だった場合に、あまり実のあるグループワークができなかったりして残念でした。ある程度しょうがないのかもしれませんが。
- （私だけかもしれませんが）受講プログラムの中で、講師の方から人種差別的ともとれるような発言があったように感じ少し残念な気持ちとなりました。今後はそのようなことが無いことを願っております。
- SPOD 関係者で講座が満席になるのが改善されたら嬉しいです。
- 少数の出席者であったワークショップも大変有意義なものであり、参加者が少なかったのが残念です。

SPODフォーラム自由記述欄 開講希望とりまとめ

【FD/S D】

- 中村文子先生のワークショップを2日間開催して頂きたいです。
- 発達障害のある学生への指導・支援に関する研修（7）
- 学生×職員×教員を対象にしたセッション。
- ポートフォリオに関する評価方法等の研修
- 「学生の学ぶ意欲を高められる仕掛け」, 「学生が自己の成長を実感できる講義手法」, 「学生の社交性を高めさせられる講義手法」など, 【学生の成長支援】をキーワードにしたものを受講したいです。
- 危機管理に関して, ハラスメントのことだけでなく, 学生が事故に巻き込まれたり, 問題を起こしたりしたとき, あるいは東日本大震災のような災害時の大学の対応などについて情報共有したいと思った。（2）
- 高大連携（接続）, ルーブリック作成の基本知識
- ワールドカフェやOSTの研修を希望します（2）
- 中教審の答申をわかりやすく説明してほしい。（2）
- 授業アンケートの見直し
- 授業を効果的に展開するためのヒント（学習効果が期待できる大人数授業, 授業外学習を促すための授業, 授業実践スキルの向上など）, FD・SDをすすめていく上で求められる組織的な取り組み, いろいろな切り口から見た初年次教育に関するプログラムなどでしょうか。あまり, 具体的でなくて申し訳ありません。
- ファシリテーション研修, ファシリテーショングラフィックの研修を学外の方の刺激を受けながら受講してみたいです。
- 教職協働の円滑な進め方（3）
- 対話力, プレゼンテーション力（3）
- 個人情報の保護関係
- コーチング, メンタリングの実践的研修（2）
- モチベーションの向上に関するプログラム（2）
- 心身に問題を抱えている学生の対応や支援方法。
- 大学経営に関するものがあれば受けてみたいです。
- 業務における「タイムマネジメント」に関するプログラム
- 学生対応
- 認証評価受審への学内の取り組みについて
- 学校教育法や大学設置基準の解説講義
- 大学改革に関する内容は, 今までも大きなテーマとして取り上げられていますが, ますます重要であると感じます。また, 学生の進路に関する大学としての取り組みなどをテーマとしたものも欲しいと感じます。
- ディベートを研修プログラムに取り入れる方法等について
- Excel, Wordなどパソコンスキルの講習もあれば, 参加したい
- “学生のやる気を高める”ための教職員の接し方

【FD】

- FD研修ということで、教育方法についての講義が多いのですが、教育理念を考える場をもってもらったと思います。
- ラーニングポートフォリオとルーブリック評価、管理職研修の構築法
- 教案の作成、授業用資料の作り方など、新任教員の授業組み立てに役立つ内容の充実をお願いします。
- フォーラムと平行してティーチング・ポートフォリオの開発ワークショップを行なえるかどうか、検討していただきたいです。
- 国内外最先端事情、または次世代型FD予想
- 佐藤先生のプログラムの続編をぜひ。
- 試験以外の評価方法。レポートなどは評価が明確でなく、どうすれば学生に分かりやすいか。
- 学部長向けプログラムがあり、それを全学の学部長が同じ部屋で受講するようなものがあれば素晴らしいと思う。
- FD会立案の研修
- 分野別FD
- Moodleの活用法。
- 新任職員研修（着任前の事前研修）をどう作るか？

【SD】

- 受講したい講座がかぶっていたため、断念した【職員のためのキャリアアップ講座-科研費を題材にして-】や、【若手職員のためのキャリアデザイン入門】、【部下を活かすためのコーチング講座】、【ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ】などを来年も開講して欲しい。
- キャリア教育に関することや職員の就職支援、学生相談に関する研修プログラムがあれば尚よいと思います。（2）
- 大学がどのように社会のニーズを捉えていくかなど大学がCenter of Communityとして機能していく方法など地域連携に関するテーマでの職員養成プログラムを希望します。
- 率直に言いますと、「やる気のある職員が、やる気のない上司を動かしていくための方法」といった内容の講座があればと思います。（難しいとは思いますが…）（2）
- 外部資金の受入業務を行っているため、例えば、【競争的資金に関する事務職員の意識向上と各大学の取り組み状況】について、講座があればと思った。
- SDにて管理職を対象とする研修をいれて欲しい。管理職の方は「今更研修？そんな暇はない」とか言われているが、そういった方が受講してもよい研修もあったため。（受講の主な対象者が若手・中堅職員だと管理職の方も受講しづらいのもあると思われるから）（2）
- リーダー学
- 職場内環境（部署内、対他部署等における対人関係）の改善・向上に関するプログラム
- 事務職員の研修を増やしてほしい。会計など事務処理の効率につながる講義もあればありがたい。
- 「大学職員企画力養成講座」の続編として、課題の本質を捉えたり、具体的な解決策を整理しながら検討するような思考法や会議手法などをケースを用いて体験的に学べるワークショップなどがあれば、是非参加してみたいと思います。（「判断力・決断力養成講座」がこれに近いということであれば、次回参加したいと思います。）

- 大学職員における英語力とその活用方法。
- SDプログラムの充実と民間企業から学ぶプログラムなど。

【プログラム全体への希望】

- 職員と教員が業務・授業などに関して意見交換する場があるとよいと思います。(2)
- より具体的な内容を参加者全員で共有できるようなコミュニケーション(3)
- スキルアップとなるもの。
- 今後とも、タイムリーなテーマでの開催をお願いします。
- 来年度以降も継続してフォーラムに参加したいので、入門的プログラムの内容を段階的に引き上げた講座を用意していただきたいです
- FDに関連し、能動的な授業展開について具体的に模擬授業をするような形式での講座や、SDであれば、職員が発案するプロジェクト事例などより具体的なものを聞けるような場があれば、自分自身の大学へ置き換えて色々展開するためのヒントとなるのではないかと思います。
- どのような分野の研修でも、未だ気づくことができていない視点から物事を捉えるきっかけとなるような研修を希望します。
- 毎年新しい内容の授業を取り入れてほしい。
- もう少し実務に踏み込んでもらった方が良かったように思います。(2)
- 今回受講したようなプログラムを通して、とにかく一件でも多く、学生支援や部下への指導に関する解決策や事例を知りたいです。

【その他】

- 時間が重なって参加できなかったり、四国地区限定で参加できなかったプログラムを開講してほしい
- 今回のSPODフォーラムにも学生を理解するための講義が開講されていましたが、毎年、開講していただきたいです。
- 同じ業務を担当する職員を集めた交流会
- FD,SDの実施担当者による、実践報告会を兼ねたセッションを公開して、情報交換を行う。

SPODフォーラム自由記述欄 SPODの事業全般へのご意見・ご要望とりまとめ

【内容について】

- 受講希望が多かったプログラムは、翌年か翌々年にはまた開講してほしい
- また、必要なことを身につけることができそうなプログラムがあれば参加してみたい。
- 今回のフォーラムでは、新たなプログラムが開催されており、参加させて頂きました。大変興味深く勉強をさせて頂きました。
- 大学の実情の問題点を解決するための情報交換が重要だと思う。最終的な解決は、教員各位が実施するしかないので、そのためのアイデアがほしい。また、他教員の実践例を参考にして、各大学の実情に合わせての授業改革への足がかりになることを望む。
- SD 関係で詳しい事を教えて頂きたいと思います。
- それぞれのプログラムの内容がよく練られていることや、実践を促すような研修内容がとても印象的でした。引き続き、満足度の高いプログラムを実施していただきたいです。プログラムの内容で惹きつけられる参加者は多いと思います。(2)
- 大学の事業全般を網羅しており、今後も継続してほしい。
- 秦先生の研修は、非常に楽しく、ためになりました。
- 時間内に終了出来ない研修があり、時間配分を考えるべきである。内容が良かったように思われるため、非常に残念である。

【運営について】

- 何となく、四国の国立大学法人四つが中心になりすぎている気がしました。今後は、公立、私立大の教職員が積極的に参加できる仕組みができあがるといいなと思いました。
- 会場周辺の食事場所や駐車場等、地理に明るくない参加者が対応できるような情報提供・配慮をお願いします。(2)
- カラー刷り案内(プログラム)を郵送していただくのはとてもありがたいことですが、この情報はHPからもダウンロードできますので、運営経費節約の観点からも、廃止を検討されては如何でしょうか。
- 四国だけでなく、他地域の大学等機関へも様々なプログラムの開放しているところは素晴らしいと思います。(2)
- フォーラム以外のイベント参加はSPOD加盟校限定なののでしょうか？
- 学内での周知が上手くされていないようで、SPODの取り組みについて、今回たまたま知った。学内の話ではあるが、情報提供という観点から、問題があるように感じた。また、講座開講時、徳島大学の学務系の職員が仕事として手伝っていたようだが、ボランティアで色んな大学職員を募った方がSDにもなるように思った。
- このような自主運営組織があることを知り、励まされた思いです。
- はじめて参加しましたが、組織的な運営をされており、また受講生だった方が講師を勤められるなど、キャリア形成の、よいスパイラルも展開されているように感じました。
- 本学からは職員の参加がなく、残念に思った。職員の参加を促すようなアピールをして欲しいと思った。

【その他】

- 2つめの設問の【所属組織の問題解決に役立つか】にたいする回答は、(わからない)です。選択肢には(わからない)や(どちらともいえない)という選択肢を追加すべきです。むりやりいずれかに回答させようとするのはよくないと思います。
- SPOD 参加中に得られた知見を、その日のうちにその場でまとめるためのブース（パソコンを使える環境）の設置。適宜新しい考えやひらめき等を、自分なりにまとめる時間と場所があると助かります。
- 「参加者名簿」について、役職と、どの研修を受けるかも記載があればありがたい。私はあいうえお順より、大学の北から順の方が見やすいです。
- 研修プログラムも非常に多く、参加者としては有意義であるが、研修時間以外に他大学担当者と話し合う時間の設定がむずかしい。

【今後への期待】

- 今回 SPOD フォーラムに参加して感じたのが、このような取り組みは他の地域では無いと言われていた。今後、四国外の地域においても SPOD 九州, 中国, 近畿版…と徐々に広がっていけば、より良い大学になるように感じた。
- 参加者の研修実績（内容・回数）等を例えば、ポイント評価し、ポイント等により表彰などすると励みにもなり、参加促進にも繋がっていくのでは。
- 現在フォーラム以外は四国の加盟大学内で事業を展開されているが、個人会員制度を設けるなどして、いつでも参加できるようなシステムがあれば嬉しいです。

【感想】

- 実施を継続するのは大変ですが、参加するたびにあらたな発見があります。是非続けていってください。（11）
- こういう機会を作っていただけるからこそ、「大学を抜け出す良い機会」として参加することが出来ます。
- 素晴らしい体験をさせて頂いたという思いです。今後も、最新の大学教育について指導いただけますことを期待いたしております。
- オーガナイズ側も受講者側も非常に熱心で、それだけでも刺激になりました。
- 初めての参加でしたが、学ぶ点が多く、非常に良い刺激となりました。より良い授業に向けて、できることから少しずつ取り組んでいきたいと考えております。
- いつも学び直しの機会を与えていただき感謝しています。これからも魅力ある事業が継続・発展されるを期待しています。
- 充実した3日間を過ごしました。ありがとうございました。ご指導を頂いた先生方はもちろんのこと、運営をされていたスタッフの皆さんにも、いろいろと細やかなお心遣いを頂きました。（9）
- 注目すべき取り組みだと思っています。
- 準備から当日まで、お疲れ様でした。FD/SD の取組の先進的事例を勉強するために参加いたしました。期待通り大変勉強になりました。今後本学での FD/SD の研修会開催の際にぜひいろいろとご相談させていただきたいと思います。その際はよろしく願いいたします。

- 今回初めて参加しましたが、たいへん有意義な研修になりました。大学職員が危機感をもってこれからの高等教育に携わっていく必要性を体感できました。また他大学の方たちの真剣な姿にも刺激を受けました。
- 年に一度のフォーラムで、日々の業務に埋没しそうになりそうな自分をリセットし、楽しませていただいております。是非今後も継続していただきたいと思います。
- 今回フォーラムに参加して初めて SPOD を知ったのですが、異なる学校の様々な役職の教職員が集まる場というものは非常に貴重で有意義だと感じました。こうした輪がさらに大きくなり、他の地域でも結成できればと思います。(2)
- はじめて参加しましたが、非常に熱気にあふれる前向きな会場で圧倒されつつも、自分もその中に入って夢中で取り組むことができました。主催・関係の皆様のお思いや姿勢、また、実際の説明を伺い、自分自身も学び体験したことを次に繋げ、広げ、活用しなければならないと強く思いました。本当にありがとうございました。
- とてもよく練られた事業で、また機会があれば参加させていただきたいと思いました。
- 昨年も参加させて頂きました。
- SPOD に参加させていただき、他大学の方と交流を深めることができました。情報も多く得ることができ、大変有意義な時間でした。(2)
- 今回はじめての参加でしたのでただただ学ぶ事ばかりでした。次年度以降は他の職員にも参加を呼びかけて行きたいと思います。ありがとうございました。
- 参加してみて、四国地区の教育力が上がっていくことがよくわかりました。(3)
- 徳島大学の会場がとてもよかったです。
- 全国の高等教育関係者が SPOD に関わる方々のように意識が変わっていくことを願っています。自らも高等教育に関わるものとして、その一人になれるようにと思います。
- 非常に有意義な取組だと思うので、ぜひ来年も開催して欲しい。(4)
- 今回は全国各地の大学から参加者があり、フォーラムには初めて参加したので、驚きました。グループワークのテーマに沿って、各大学での取り組みや抱えている課題など、わずかながらお話を聞くことができ、大変有意義な研修となりました。また、昼食を摂りながらの意見交換会が今回入っていましたが、効果が上がるミーティングとなったのでしょうか。教務部門のテーマでも行ってほしいと思います。
- フォーラムなどでの様子を拝見していて、SD・FD への取り組み姿勢に勢いを感じ、自分自身も自己研鑽に力をいれなければと改めて考えさせられる研修でした。
- 非常に有益でした。ありがとうございました。(9)
- 四国特に愛媛大学の方々の意識の高さを学びたいと思います。
- 関係者の皆様のお取り組みに敬意を表します。職員のよりよい業務環境づくりと成長のためにも欠かせないご活動です。ぜひ地域を超えて全国に SPOD イズムを広めていただきますよう期待しています。私も一人の職員としてできることから実行していきます。

SPODフォーラム2012の参加者からの要望等について

■他大学との交流について

- ・初日の最初に全員が一堂に会するプログラムを開催し、共通の話題を提供し参加者が知り合いになる機会を設けてみてはいかがか。
- ・プログラム参加者の交流の場を昼食時などにできないか。
- ・研修プログラムも非常に多く、参加者としては有意義であるが、研修時間以外に他大学担当者と話し合う時間の設定がむずかしい。
- ・大学の実情の問題点を解決するための情報交換が重要だと思う。最終的な解決は、教員各位が実施するしかないので、そのためのアイデアがほしい。また、他教員の実践例を参考にして、各大学の実情に合わせての授業改革への足がかりになることを望む。
- ・所々にティータイム交流会を設けてほしい
- ・参加者の皆様の様々な取り組みが一同に確認でき、気軽に意見交換ができるようなポスター発表のような時間があっても有意義ではないかと思う。

対応

- ・SPODフォーラムの目的の一つでもある相互交流を実現するため、今回はランチョンセミナーで交流の場を設けたが、次回以降、ポスターセッションや休憩時の交流プログラムの検討など、交流を積極的に促すような仕掛け（掲示・案内も含めて）を検討する。

■実施会場について

- ・開催校を順次変更して欲しい。
- ・今後も他県開催を継続してほしい。
- ・今回は愛媛大学以外で初の開催ということでしたが、岐阜県から参加させていただくには徳島大学のほうがアクセスがよくて便利に感じました。
- ・市街地に近く、交通の便利なところで開催していただければ、どの県で開催していただいても結構です。
- ・関西圏から参加させていただいた為、徳島までの距離が長く移動が大変であった。
- ・今回は身近な大学での開催だったので研修に参加しやすくよかった。
- ・関西から着ましたが、徳島は意外と近く、交通が楽でした。
- ・可能であれば、四国4県で持ち回りで実施してほしい。
- ・会場は、四国の玄関口、香川県でも開催していただきたい。
- ・四国以外の場所でも開催してほしい。
- ・会場は、四国外からの参加者を考慮し、比較的アクセスがよい場所がいいと思う。
- ・今年初めて会場を徳島大学に移して開催された旨を聞いた。他の時期に様々なプログラムが色々な展開されているが、可能であればフォーラムも会場は持ち回りのようなスタイルでも良いか考える。

対応

- ・来年度は愛媛に一度戻して開催することになるが、その後については他県開催について積極的に検討する。

■広報活動について

- ・四国内及び SPOD 加盟校であっても、SPOD を知らない教職員がいると思われる。教職員に周知の研修であることを知らしめることができれば、もっと積極的に皆が参加されると思う。
- ・いい取り組みをされていて次年度も是非参加したい。ただ、学内での周知が上手くされていないようで、SPODの取り組みについて、今回たまたま知った。学内の話ではあるが、情報提供という観点から問題があるように感じた。また、講座開講時、徳島大学の学務系の職員が仕事として手伝っていたようだが、ボランティアで色々な大学職員を募った方がSDにもなるように思った。
- ・カラー刷り案内(プログラム)を郵送していただくのはとてもありがたいことだが、この情報はHPからもダウンロードできるので、運営経費節約の観点からも廃止を検討されては如何か。
- ・本学からは職員の参加がなく残念。職員の参加を促すようなアピールをして欲しい。
- ・スケジュールが空いていないと参加できないため、なるべく早く日程等公表してほしい。

対応

- ・SPOD内加盟校県内会議等を通じた参加の案内に加え、各校での全学メールシステム等を使った周知をお願いするなど、SPOD内加盟校における周知を図る。プログラムの郵送については、事前アンケート結果においても郵送したチラシがフォーラムの周知に大きく貢献している(42%)こともあり、今後も継続する。フォーラムに関するボランティア職員の導入等については、周辺大学への案内を行うなど積極的に検討する。

■プログラム内容の事前周知について

- ・研修の具体的内容をもう少しわかりやすく記載していただきたい。
- ・初日に配られたプログラムを事前に送付いただきたかったこと。
- ・できれば、講義概要等について事前に配布していただけると助かる。
- ・講座の対象者を今以上に明確に設定すること。

対応

- ・プログラム内容については、申込みHP上にシラバスを掲載しているが、ご覧いただけていないようであるため、分かりやすくなるよう、申込みフォームの工夫を行う。

■開催時期／期間について

- ・初日を午後からにしていただけると、1泊減って参加しやすいかと思う。
- ・夏休み中は参加しやすいため、来年度も同じような時期が良いと思う。
- ・3日間の参加は業務の兼ね合いもありなかなか厳しい状況にある。
- ・今のとおり8月23日頃(お盆ではなく、8月最終週ではない時期)が参加しやすい。
- ・もう少し、涼しい時期が良い。
- ・金曜日終了にしていただけると、研修で学ぶだけではなく四国ならではの歴史や風俗に触れる機会を得られるのではないか。
- ・日程について、土・日を含んでいただけると助かります。
- ・1度に3日間全ての研修を受講する事は困難なので、年に2回実施するなどあれば、各大学でも多くの受講者が参加できるのではないのでしょうか(夏1回,秋1回など)
- ・同じ内容で年2回開催し、できるだけ多くの教職員が受講できるようにしてほしい

対応

【開催日程】日程については、教職員が最も参加しやすい夏季休業中で実施する。具体的日程については、会場等の都合もあり、全ての要望を反映することが難しいため、早めに日程を決定し周知することで対応する。この2年間は、平日のみの開催においても参加者数等安定しているため、来年度も引き続き平日開催とする。

【開催期間】

今年度同様、年1回3日間ないし4日間での開催とする。

■プログラム構成について

- ・多くの講座が開講され、魅力的なものが多く、受講したい講座がかぶってしまった。
- ・一部、受講したい講義が重なっていたため、選択の必要があった点。
- ・プログラムの内容が重なっているので、整理していただきたい。入門編と発展編などに分けるのもよいと思う。
- ・新任教員対象ならば、プログラムの内容の定番化を進めることがよいと思うが、常連が多くなると、プログラムの多様化が必要になってくる。定番と多様化の両立が求められると思うが、どうやってやるのかということを考えながら参加した。
- ・講義形式のものもゆっくり聞いてみたかった。
- ・プログラムに関して目新しさを追求していくと、〇〇のようになると思うので、受講希望が多かったプログラムは、翌年か翌々年にはまた開講してほしい。
- ・同時刻に開催されているプログラム数が多いように感じた。

対応

・受講できなかった方のために、人気のプログラムについては、最低2年間は同じプログラムを開講することになっているので、来年度受講いただくよう参加者に周知する。また、プログラムの配置については、バランスを考えて行う。

【プログラムの進行・運営】

- ・2時間の講座で、30分延長したものがあつた。時間内に収めて頂きたい。
- ・時間通り終了しない、時間不足で内容をはしょつたプログラムや、昼食が慌ただしかつたなど、全体的にいっぱいいな印象を受けた。もう少しゆとりを持って構成できないか。
- ・1コマの授業だと、考える時間より聞く時間が多くなり、物足りない感じがした。
- ・セミナー時間について、1時間半では短いように感じた。2時間あればより深まると思う。
- ・グループワークを行う講座では90分枠では時間が足りない印象があつた。プログラム上120分枠とすることは難しいかと思うので、事前に受講者にスライド資料や参考資料を提示するなどして(参加登録時にID・PWを配付してweb配信)、“時間外学習”をしておいてもらい、当日の説明・解説は要点だけに絞つてグループワークの時間を確保するようにはいかがか。
- ・会場によっては、自由に着席したところ、職員の方ばかりで教育上の問題が話せなかつたりしたので、グルーピングの仕方に工夫が必要だと思つた。
- ・グループワーク主体のプログラムが多く内容が濃い一方、時間が足りないことが多かつた。テーマを絞つて1つの内容をじっくり扱うプログラムがあつてもよいのではないか。
- ・最後までたどり着かず残念だつた。講義は大変分かりやすかつたので、ぜひ時間を長く調整するかプログラムを段階に分けて設定すればと思う。
- ・グループを組む相手が非常に消極的(例えば、職務命令でしようがなく来ました等言つている人がいた)だつた場合に、あまり実のあるグループワークができなかつたりして残念だつた。
- ・偶然私が参加したセッションは、机がグループの配置になつているのにディスカッションの機会が少ない講義形式だつたことが残念だつた。
- ・セッション毎のインターバルをもう少し短く設定し、その分、朝一番のセッションの開始時刻を少し遅らせるのが良いと思う。

対応

・SPODフォーラムはグループワーク等を含んだ実践的なプログラムであるという特質を考え、実施時間については余裕のあるプログラム時間を検討する。また、担当講師にも余裕を持ったプログラム構成、事前課題の設定やグルーピングの工夫について検討をお願いする。なお、休憩時間の短縮については、次のプログラムまでの準備時間を考慮する必要があるため、開催校を中心に検討する。

【プログラムの質保証（講師のスキル）】

- ・講師の説明については上手い下手があり、講師にも訓練が必要だなと思った。
- ・（私だけかもしれませんが）受講プログラムの中で、講師の方から人種差別的ととれるような発言があったように感じ少し残念な気持ちとなりました。今後はそのようなことが無いことを願っております。
- ・各分野に係る継続的な講師養成

対応

- ・講師については、経験豊富な講師にお願いしているが、上記のご意見を講師に周知することにより、一層の質保証を図る。また、引き続き新たな研修講師の育成も同時に行っていく。

【プログラム内容】

- ・マニュアル講義ではなく、即実践のため、より具体事例を含んだ講義内容があれば嬉しい。
- ・これまで複数回受けた印象でしかないが、講義によって、役に立つものとそうでないものとの差が明確にあるような気がする。研修のための研修になっているものや現場の課題から離れているものもあるのではないか。〇〇講師のように、実際にご自分が工夫され上手いって方の話が説得力があり、有効であるように感じる。
- ・当該コマは講義形式だったが、情報内容が他の説明会で得られる内容であったため、満足度は低くなった。担当講師の考えや、参加者の考えを共有できる内容であれば満足度は高かったと思われる。
- ・事例研究としては大変に参考となったが、そこから理論的・体系的な説明、特に一般的な授業にも適応できるような理論が聞きたかった。
- ・理系専門課程用のプログラムの充実。共通教育、文型と理系専門課程は、専門職で活躍できる人材を育てるという違った面がある。理系の場合、アクティブ・ラーニングをするために内容を削るという事を躊躇する。そういう、具体的な問題点に対応できるプログラムを用意していただきたい。
- ・授業において特徴的な事例の相互交流が重要だと思う。
- ・昼食を摂りながらの意見交換会が今回入っていたが、効果が上がるミーティングとなったのだろうか。教務部門のテーマでも行ってほしい。

対応

- ・上記の要望を踏まえた留意事項等を作成し、プログラムを実施する講師の方々に周知し、可能な限り要望に沿えるような方法・内容にしていく。

■シンポジウムについて

- ・シンポジウムは、登壇者一人ひとりの時間が短く、全体的に急ぎ足の雰囲気であった。
- ・もう少し質疑応答に時間があつたほうがよかった気がする。
- ・シンポジウムが何を意図しているのかわかり難いものだった。誰にどういう影響を与えてどうさせたいのか。意識改革を目的とする集まりだと思うので、その辺りの筋が明確な方が良かったのではないか。
- ・もう少し長めに質疑応答の時間があればよかった。学生の主体的な教育を研究されている最先端の方と職員、教員との討議をもっと聞いてみたかった。
- ・アクティブ・ラーニングについて、教員・職員が共に考える場だったと思うが、パネリストの教員からの発言は職員に向けての視座が欠けていた。教室の中で完結する授業手法の1つであるだけならば、共に考える必要はないと思う。
- ・短い討論時間を有意義な議論に使えるように、司会者は準備し、コントロールしてほしい。

対応

- ・シンポジウムについては、EQトークを新たに取り入れるなど、毎年改善の努力を行っているが、引き続き内容・進行等を見直し、皆さまに満足いただけるより良いシンポジウムとなるよう検討を行う。また、教員と職員が一体となって考えることができるシンポジウムとなるよう配慮する。

■運営上の要望について

- ・夏場なので会場の休憩場所は飲食の場所など(今回はお茶などあったそうだが、場所が良く分からなかった)あったらいい。
- ・会場が暑すぎた(節電は理解できるが、体がついていかない/片頭痛持ちには辛い)。
- ・駐車場がある会場がいい。
- ・食堂が混んでいたのも、食券をあらかじめ発注していたら良かったのでは。
- ・直前で受講キャンセル等が発生する可能性があるのも、Web上で受講可能数がリアルタイムで更新されるような申し込みシステムを使うことができればいいと思う。
- ・「参加者名簿」について、役職とどの研修を受けるかも記載があればありがたい。私はあいうえお順より大学の北から順の方が見やすい。
- ・会場近くの飲食店を紹介して欲しい。短い時間で効率よく動きたい。
- ・SPOD 参加中に得られた知見をその日のうちにその場でまとめるためのブース(パソコンを使える環境)の設置。適宜新しい考えやひらめき等を、自分なりにまとめる時間と場所があると助かる。
- ・会場周辺の食事場所や駐車場等、地理に明るくない参加者が対応できるような情報提供・配慮をお願いしたい。

対応

・次年度の運営にあたっては、いただいたご意見を可能な限り反映できるよう検討する。
ただし、開催校の都合により、反映できない要望もあるので、その点についてはあらかじめ参加者に事前周知を行い、ご理解いただくようにする。

■その他

- ・何となく、四国の国立大学法人四つが中心になりすぎている気がした。今後は、公立、私立大の教職員が積極的に参加できる仕組みができあがるといいなと思った。
- ・参加者の研修実績(内容・回数)等を、例えば、ポイント評価し、ポイント等により表彰などと励みにもなり、参加促進にも繋がっていくのでは。
- ・このアンケートメールに、参加者の「アクションプラン」を書いてもらい、それをご本人にだけ1ヶ月後や半年後に自動送付することができれば、フォーラム参加の影響を少しでも長く感じてもらえると思います。
- ・現在、フォーラム以外は四国の加盟大学内で事業を展開されているが、個人会員制度を設けるなどして、いつでも参加できるようなシステムがあれば嬉しいです。
- ・SPOD 関係者で講座が満席になるのが改善されたら嬉しい。
- ・アンケートの2つ目の設問【所属組織の問題解決に役立つか】に対する回答は、(わからない)となる。選択肢には(わからない)や(どちらともいえない)という選択肢を追加すべき。むりやりいずれかに回答させようとするのはよくないと思う。

対応

・ご提案いただいた案について、実施可能であるものについては積極的に取り入れていく。
SPODは、四国地区の大学等加盟校からの拠出金によって運営を行っており、個人会員制度の導入は考えていない。加盟校の教職員を優先としてプログラム募集を行うことにはなるが、他のプログラムについては一般に開放されているものも多くあるので、それらの告知を行い、広く参加を呼び掛けるなど工夫をする。